

令和5年度 第3回

浜松市立竜禅寺小学校 学校運営協議会



【1年生校外学習：竜洋昆虫公園】



【6年生修学旅行：国會議事堂】

令和5年11月17日（金）15時00分～

浜松市立竜禅寺小学校

次第

開会 開催要件(委員の過半数の出席)確認 <司会:高須、記録:富田・佐々木>

1 始めの言葉

2 会長挨拶

3 校長挨拶

4 議長の選出

5 熟議 <議長:北井、記録:富田・佐々木>

(1) 各学年から実践内容の紹介

①4年生 ②5年生 ③6年生 ④たつのこ

(2) 1学期末の学校評価と改善策<松井>

(3) 教育活動の充実に向けて

6 報告<司会:高須、記録:富田・佐々木>

①落ち葉集め<高須> ②読み聞かせボランティア<佐々木>

7 終わりの会

(1) 次回開催 令和6年2月20日(火) 15:00~16:30

(2) " 議長

(3) " 内容

- ・学校評価の結果、成果と課題、改善策
- ・学校関係者評価
- ・学校運営協議会自己評価
- ・令和6年度学校運営の基本方針
- ・夢育やらまいか事業、CS加算分報告
- ・委員の任期について

閉会

8 終わりの言葉

第3回 学校運営協議会出席者名簿

学校運営協議会委員

会長	倉重 建朗(くらしげたけお)
副会長	北井 実香(きたいみか)
委員	寺田 成一(てらだしげかず)
委員	松本 直己(まつもとなおき)
委員	新井 和美(あらいかずよし)
委員	加藤 京子(かとうきょうこ)
委員	高須 道男(たかすみちお)
委員	柳川 春彦(やながわはるひこ)
委員	鈴木 宏幸(すずきひろゆき)

学校

校長	水野敦司(みずのあつし)
教頭	佐々木和也(ささきかずや)
教務主任	松井 康子(まついやすこ)
CS担当教職員	畠田みゆき(とみたみゆき)
CSディレクター	中村 朝実(なかむらあさみ)

浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子(すずきようこ)
-------	---------------

時間割と日課

学年・組	担任名	朝の会・Sタイム 8:00～8:25	1時間目 8:30～9:15	2時間目 9:25～10:10	3時間目 10:20～11:05	4時間目 11:15～12:00	給食・昼休み 12:00～13:15	清掃 13:15～13:30	5時間目 13:35～14:20	帰りの会 14:20～14:30
1年1組	橋本	国語	発表会練習	音楽 富田	算数					
1年2組	富田	国語	発表会練習	体育 橋本	算数					
2年1組	石塚	国語	国語	算数	音楽				発表会練習	
2年2組	木賀	算数	体育	国語	算数					
3年1組	大場	外国語	書写 菅	国語 太塙	理科 大塙	道徳			発表会練習	
3年2組	菅	理科 大塙	国工 久野	国工 久野	外国語 久野				外国語	
4年1組	藤村	外国語	書写 大塙	発表会練習	社会				算数	
4年2組	小名木	算数	国工 藤村	発表会練習	学級活動				社会	
5年1組	榎原	算数	国語	体育 坂口	外国語 坂口				社会	
5年2組	坂口	外国語	算数	社会 池谷	体育				国語	
6年1組	近藤	算数	外国語	道徳	社会 池谷				学活	
6年2組	尚子	国語	社会 池谷	外国語 久野	国工 久野				学活	
たつこの1	美晴	体育 丁加茂	発表会練習	算数	音楽 加茂					
たつこの2	水口	体育 丁加茂	算数	国語	生活				発表会練習	
たつこの3	幹恵	体育 丁加茂	国語	理科	学活				算数	
たつこの4	塩崎	体育 丁加茂	算数	国語	社会				道徳	

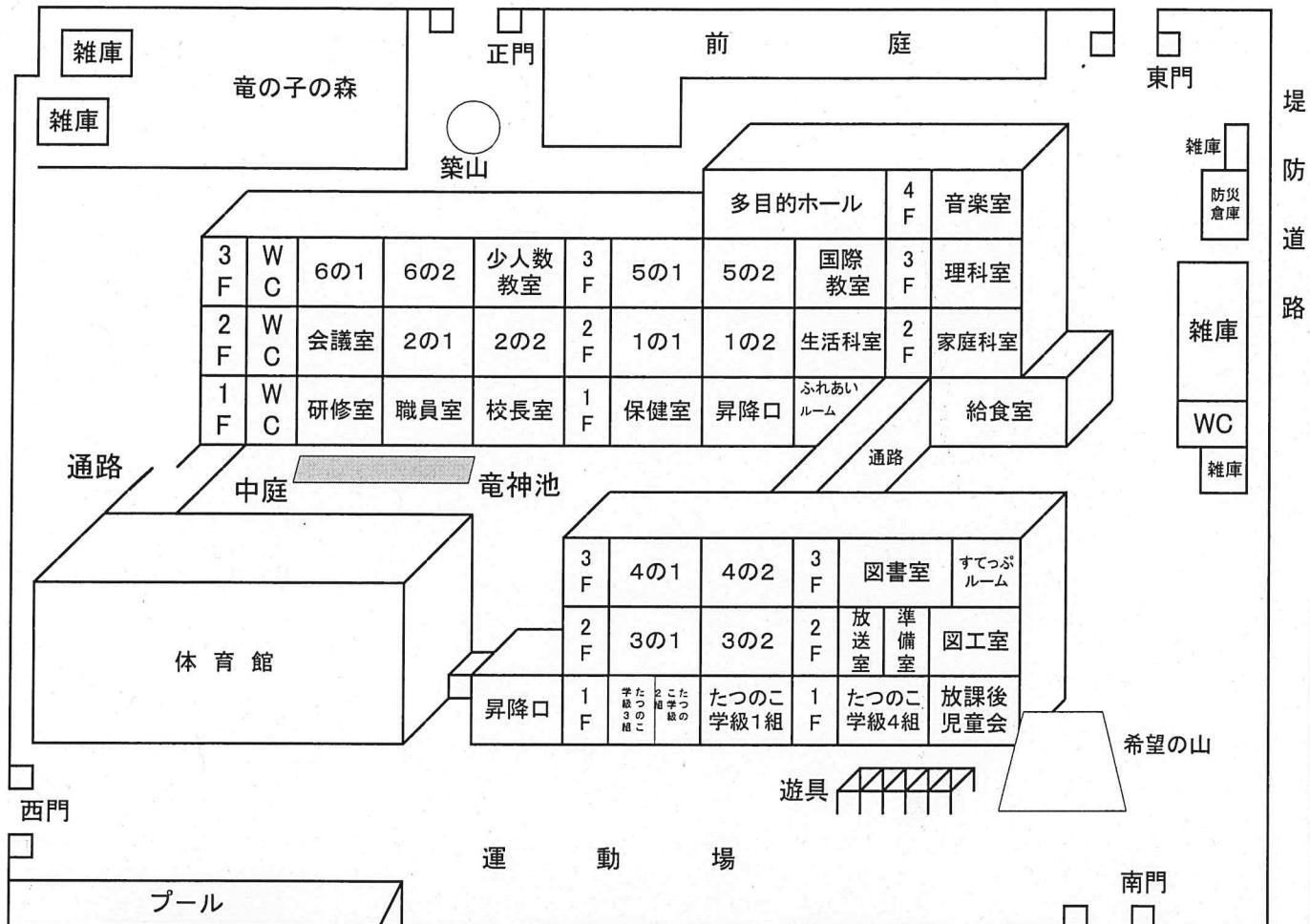
※授業は基本的に担任が行いますが、教科名の下に名前が記されているときは、その者が担当をします。

※教科は変更になる場合があります。

※TTOOと記されている時間は、担任どその者の2名で授業を担当します。

※1時間目、たつのこの体育は4クラスが合同で行います。

校舎・教室配置図



職員組織

校長	水野 敦司
教頭	佐々木和也
教務主任	松井 康子
研修主任	鈴木 尚子
生徒指導主任	坂口 陽介
発達支援教育コーディネーター	塩崎 弘治
道徳教育推進教師	藤村さとみ
特別活動主任	橋本 幸蔵
キャリア教育推進委員	近藤 仁志
情報教育推進員	鈴木 幹恵
学校防災リーダー	加茂 尚弘
外国人児童指導	広瀬サユリ
養護教諭	北島 範子
事務職員	福田 知弘
給食員	鈴木 千尋 谷中理恵子
用務員	伊堂 勇一 杉本 鉄次

学年・学級編制及び児童数

R5.11.14現在

1年					2年				
組	担任	男子	女子	計	組	担任	男子	女子	計
1	橋本 幸蔵	13	11	24	1	石塚 智香	15	14	29
2	富田みゆき	13	11	24	2	木賀 嶽人	15	13	28
学年合計					学年合計				
26 22 48					30 27 57				
3年					4年				
1	大場愛菜美	14	11	25	1	藤村さとみ	13	15	28
2	菅 麻美	13	11	24	2	小名木克之	13	14	27
学年合計					学年合計				
27 22 49					26 29 55				
5年					6年				
1	榎原 瑞	16	11	27	1	近藤 仁志	11	14	25
2	坂口 陽介	17	11	28	2	鈴木 尚子	13	13	26
学年合計					学年合計				
33 22 55					24 27 51				
発達学級									
たつのこ1	鈴木 美晴	6	1	7	たつのこ3	鈴木 幹恵	4	1	5
たつのこ2	水口 享大	3	1	4	たつのこ4	塩崎 弘治	4	1	5
級外 松井康子、広瀬サユリ 加茂尚弘、大塚昌弘 増田千寿乃					たつのこ合計				
					17 4 21				
					全校合計				
					183 153 336				

初任研特例校指
導教員経歴

池谷 裕之

外国人児童生徒就学支援員

外国人児童教科指導員

小規模小学校支援員

スクールヘルパー

発達支援教室支援員

学習支援員

理科支援員

図書館補助員

パート給食員

校務アシスタント

校内参観メモ

各学年の発表メモ

4年生

課題等

5年生

課題等

6年生

課題等

たつのこ

課題等

令和5年度学校評価アンケート1学期 結果・改善案

【児童】

- 育成指標各項目 78~87%程度達成している。
- 夢1 (学ぶこと・働くことの目的・意義の理解) の達成度が 87.1%で一番高い。
- 仲3 (リーダーシップ) の達成度が 77.7%で一番低い。
 - 昨年度より 3%上昇した。重点仲2 (コミュニケーションスキル) を高めるための手立て (ペア学年交流やドラゴン運動会、宿泊訓練、授業等で設定した異学年活動) が仲3 (リーダーシップ) の育成に良い影響を与えた。2学期も同様に場・活動を設定し取り組んでいる。
- 重点仲2 (コミュニケーションスキル) 達成度 85.9% (昨年度比+1.0%)
 - 必要感を持って考えを交流する活動やペア学年交流、異学年交流、ドラゴン賞の交換 (良いこと見付け) を計画的に実施し、成果が上がった。2学期も継続して実施している。
- 重点自3 (忍耐力) 達成度 82.6% (+0.5%)
 - 授業における見通し・振り返る活動や夢への足あとカードの利活用など、教師と共に目標や取組方を見つめて修正したり最後まで粘り強く取り組む方法を考えたりして実行し、成果が上がった。2学期も継続して実施している。
- 重点夢2 (生き方の多様性の理解) 達成度 84.6% (+0.6%)
 - 学級活動や学校行事等、特別活動を中心に互いの長所や個性、多様な考えを認め合い等しく合意形成に関わり役割を担うような活動や、教科の学習や総合的な学習の時間において、地域や家庭と連携し多様な他者と協働する体験活動を設定し、成果が上がった。取組の目的や意図を再度確認し、2学期も継続的に進めている。
- 重点問1 (情報の理解・選択・処理) 達成度 80.3% (-1.5%)
 - 情報教育全体計画や各学年の年間指導計画の修正・改善・共通理解を図ることと、効果的な活用法の研修を実施して児童のICT活用を支える教員の指導力向上に取り組むことを方策として掲げている。1学期中に研修する時間を設定できなかったため、夏季校内研修でそれぞれ実施した。2学期以降は、校内研修の計画に組み込み、実施する。

【保護者】

- 育成指標全16項目の数値が昨年度より上昇した。(平均値+3.3%) 保護者の平均値と児童全体の平均値の差は、令和3年度 13.9%、4年度 9.3%、今年度 5.3%となり、平均値の差が年々縮まっている。
 - 児童の達成感と、保護者が認めた成長の姿が近づいた。保護者が児童の思いを受け止めたり、授業参観会や学校行事、各種便り、学校HPのブログ等を学校が発信した児童の表れを基に成長を認めたりすることができたと考えられる。同じ姿勢で教育活動を進めている。
- 自由記述には、児童の良い表れについての記述が昨年よりも増えた。また、家庭でも「子供たちに育てたい能力の育成指標」を意識して児童への支援をしている方がいることが分かった。学校の取組に対する改善の要望は、書かれていなかった。
 - 諸教育活動の狙いを保護者に分かりやすく発信し、理解していただけるようにしながら、取り組んでいる。

【教職員】

- 日課の変更（午前の授業を12時終了、Sタイムの廃止、下校時刻を早めたこと）によって児童と関わる時間や教材研究のための時間が生まれたという意見が多かった。
 - 午後の日課が曜日によって異なる点について懸念されたが、教師と児童共に日課表を見て行動することができている。
 - 児童にとっては、昨年度まであった15分休みがある方がよいことは承知しているが、Sタイムを授業時数カウントしているため、1校時の開始を現状の8:30より早めることは難しく15分休みを設定することは難しい。
- 金曜日の日課については、現状どおりを希望する意見が多く出された。
 - Sタイムをモジュール授業として時数カウントをして運用していることを再確認し、Sタイムの授業計画を事前に週案に明示し実施している。年間指導計画に沿って決められた時数内で計画的に指導していく。
- 4月の希望制家庭訪問・自宅確認をキャリア・カウンセリング（全員）に変更して実施したことは、学年・学級経営方針やいじめ防止基本方針、キャリア教育、児童についての共有・理解を全家庭と年度初めに顔を合わせて行うことができ、成果が上がったと捉えている。
 - 来年度以降も同様に実施していく。
- 6月の授業参観会を1学期の成果を保護者に伝えるために7月にしたらどうかという意見が出された。
 - 来年度は、授業参観会を7月に実施する予定である。7月に実施していた4・5年生の宿泊訓練を暑さ回避のため、6月に変更する。令和6年度は、6月27日（木）・28日（金）に実施する。
- 参観会後に実施する懇談会について、「教師主導で行えばよい。」「PTA主導ならばやってよい。」「実施しなくてよい。」など様々な意見が出された。
 - 1学期の成果や夏休みの過ごし方等を伝える目的で教師主導の懇談会を実施することは、可能である。昨年度まで7月に実施していたキャリア・カウンセリングを今年度は10月実施に変更したことや12月実施のキャリア・カウンセリングとも関わりがあるため、来年度の懇談会については、教育課程編成会議で検討する。

《結果から》

令和5年度1学期の学校評価アンケートの結果から、本年度の教育課程の方向性に間違なく、今後も継続して取り組んでいく。

- 1 育成指標の本年度の重点については、引き続き児童・保護者・教職員が取組を実践し、児童の基礎的・汎用的能力が高まるようにする。

特に、**夢2**（生き方の多様性の理解）については、学級活動や学校行事等を中心に話し合い活動において多様な考え方を認め合い、互いの良さを生かしながら考え、伝え合い、合意形成している姿や、合意形成して決めたことに対して協力して取り組む姿などを認め、児童が理解をしながら実践できるようにする。また、地域や家庭と連携し多様な他者と協働する体験活動を引き続き設定していく。
- 2 保護者と地域住民、学校が引き続き積極的に連携を図り、育成指標を基にどのような児童を育てるのかや、何を実現していくのかという目標の共有を促進する。それとともに、教育活動や児童の状況を保護者や地域の人々に適切に情報発信して理解や協力を得たり、学校に対する意見を把握して教育活動に生かしたりしていく。
- 3 教職員が児童や保護者と直接的・間接的に触れ合い関わる時間をより一層確保し、児童一人一人の良さを認め、保護者の思いを理解し、寄り添った指導を進めていく。

報告① 落ち葉集め

1 実施日 ①令和5年10月29日(日) 8:00~9:00

・各団体から50名程度の方々が集まり、45Lごみ袋30袋程度の落ち葉を集めました。

②令和5年12月17日(日) 8:00~9:00 予定

2 実施の様子



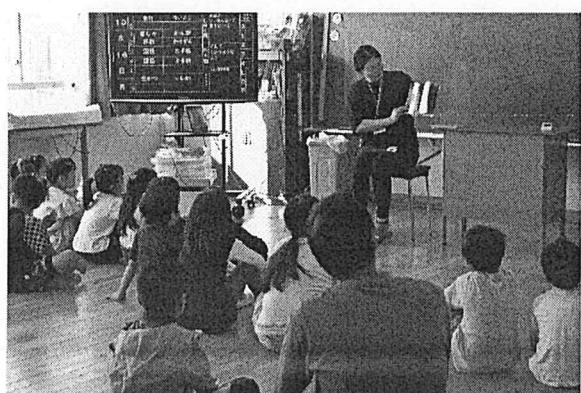
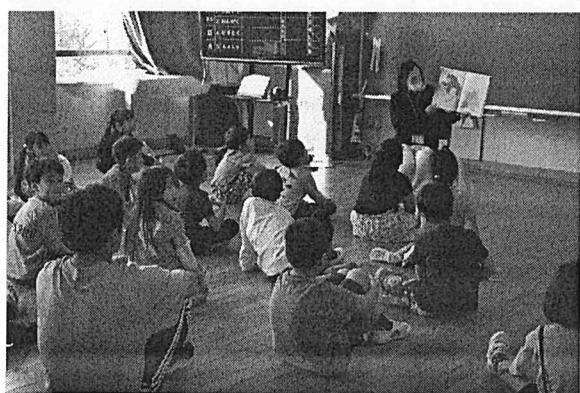
報告② 読み聞かせボランティア

1 概要

第2回学校運営協議会の提言を受けて、まずは、コロナ前にボランティアをなさっていた方々にお声掛けをいたしました。すると、十数名の方々から良いお返事をいただきました。同時に、保護者や地域の方々にもボランティア募集のお知らせをいたしましたところ、現在、26名の方々がボランティア登録をなさっています。

活動はこれまでに、9月と10月の2回行われ、次回は11月24日(金)を予定しています。

2 活動の様子



令和5年度 第2回 竜禅寺小学校運営協議会 議事録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年7月10日（金） 15時00分から16時45分まで
- 2 開催場所 竜禅寺小学校 会議室
- 3 出席委員 寺田 成一、柳川 春彦、加藤 京子、鈴木 宏幸
高須 道男、倉重 建朗、新井 和美、北井 実香
- 4 欠席委員 松本 直己
- 5 学校 水野 敦司（校長）、佐々木和也（教頭）、松井 康子（教務主任）
富田みゆき（CS担当教員）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中村 朝実
- 9 協議事項
 - (1) 議長の選出について
 - (2) 各学年の教育活動について
 - (3) 教育活動の充実に向けて（課題とその解決に向けて）

10 会議記録

委員総数9名のうち8名の出席があり、過半数を超えていたため、会議が成立している確認をした。

(1) 議長の選出について

前回推薦された北井委員が承認された。

(2) 各学年の教育活動について

① 1年生

富田主任が教育活動の紹介を行い、委員からは以下の発言があった。

- ・いろいろな先生に、自分たちが考えた質問を直接聞きに行くとはすごいこと。交渉できることもすごく良い。（鈴木委員）
- ・目標の設定が良い。評価、達成度を確認してほしい。引っ込み思案の子など、活動になじめない子への支援をしてほしい。1年生は元気でお利口さんだと感じた。（高須委員）
- ・子供たちが興味のある内容に力を入れて、楽しみながら学び、学校に行くのが楽しくなるようにしてほしい。（高須委員）
- ・入学したばかりなのに能動的な活動が多く、生き生きとしている。タブレットの使用に関してマイナス面はないか。（柳川委員）
- ・地域の人々との関わりについて、人を集めるのが難しければ、高学年の児童に祖父母を紹介してもらってもいいかもしれない。（高須委員）

② 2年生

石塚主任が教育活動の紹介を行い、委員からは以下の発言があった。

- ・地域の方や3年生児童などに聞いて、野菜の育て方のアドバイスをもらえるとよかったです。これから地域探検をしていくので、地域の方を紹介したり、活動の見届けの補助をしてもらったりするとよい。(北井委員)
- ・安全活動の見守りはPTAにお願いすれば集められると思う。また、大人でも難しいことだが、伝えたつもりでも伝わっていないこともある。伝えると伝わるは違う。最近の児童は積極性が下がっているように感じられる。積極的に動いたり行動できたりする子を育てたい。(新井委員)
- ・コミュニケーションスキルはどう教えていくか。場面をとらえて大人が子供たちを褒め、上手なスキルのありかたを子供たちに伝える。そうすれば、子供たちの自己肯定感が上がっていくはずだ。(高須委員)
- ・野菜作りもそうだが、大人のちょっとしたアドバイスから、子供たちがうまくいったときの達成感を感じられるとよい。(鈴木委員)

③3年生

大場教諭が教育活動の紹介を行い、委員からは以下の発言があった。

- ・一人一人の個性を大切にしたい。今日は、調べ学習にも一生懸命に取り組んでいた。(高須委員)
- ・3年生は新しい教科や活動が始まる学年であり、得意なことを見付けることができる大切な時期である。子供たち一人一人の「違い」もはっきりと表れてくるので、個に対応しながら、また、個を生かしながら教育活動を進めていきたい。(校長)
- ・9歳は成長の中で競争心が生まれるとき。あまり型にはめずりに、互いに競い切磋琢磨していく競争心を高めたい。(高須委員)
- ・4年生に教えてもらったソーラン節が心に残っているようだ。(北井委員)

(3) 教育活動の充実に向けて(課題とその解決に向けて)

①読み聞かせボランティアについて教頭より説明があり、以下のような質疑応答が行われた。

- ・学校から以前のボランティアの方に連絡を取れないか。その方に連絡して、人数が足りなければ募集をかけていくのはどうか。(高須委員)
- ・保護者でもできる人がいるのではないか。(北井委員)
- ・読み聞かせをすると本を読む子は増えるのか。タブレットは見るが本は読まない。タブレットで本を読むのもよいが、どちらが子供たちにとって良いのか分からぬ。(倉重委員)
- ・ボランティア募集にはどなたでも結構ですという文字がほしい。「本選びは図書室で支援員さんが援助します。」も書くとよい。(北井委員)
- ・以前からやっていた方に集まってもらう方がよい。(新井委員)

12 連絡

- ・次回の学校運営協議会は令和5年11月17日（金）午後3時から会議室にて開催される。次回は、高学年の報告をすることと、学校評価の結果について御意見を伺いたい。
- ・次回の議長も北井委員にお願いする。